



いちごぐみだより



令和8年8月25日

社会福祉法人まほろば 湊こども園

戸外で遊ぶことが難しいこの暑い夏の中、ひさしの下で水遊びをしたり、室内で感触遊びをしたりして心地良く過ごしてきました。

初めての体験も多く、様子をうかがいながら友だちや保育者が遊ぶ姿を見て、興味を持ったり、やってみようとしたりしていました。子どもたちの『楽しい』『おもしろい』が声や表情で感じられた夏でした！

水遊び

たくさん水に触れて気持ちよさそうに遊んでいました。はじめはタライの中に手を入れて水の感触を楽しみ、次に水面を叩いて水を飛ばし、「バシャバシャ！」と水の音や水しぶきなどを楽しんでいた子どもたちです。水に慣れたタイミングでカップやスコップ、ジョウロなどの道具を用意すると、すくっては流して、水の動きを見ながら夢中になっていました。また、スコップやカップで別の容器にこぼれないように、手首を返しながら水を入れようする姿もありました。水遊びを通して、水のおもしろさを感じていたように思います。



感触遊び

絵の具、高野豆腐、小麦粉粘土や感触マットなど様々な素材に触れて感触遊びをしてきました。それぞれ好きな感触、苦手な感触があり、その子どもなりの楽しみ方で一緒に遊びました。ちぎる、にぎる、のばす、重ねる…指先や手先を使い、それぞれの素材の感触を「ツルツル」「ペタペタ」「ムニュムニュ」など言葉にしながら楽しみました。





おいしいもの なあに

夏の食べ物、スイカ。見たり触ったりする機会を持ちました。大きくてまんまるなスイカに「おっきい!」「かたい!」と思ったことを言葉で伝えたり、興味津々であることを表情で表現したりしていました。栄養士さんに目の前でスイカを切ってもらい、子どもたちはおいしそうにパクパク。

食材に興味を持つことは、食べることへの意欲につながるので、いろいろな食材を知り、触れる機会を大切にしています。



全身で遊んで元気いっぱい!

段差をジャンプ、マットのお山をのぼる、走る、音楽に合わせて身体を動かすなど全身を使った遊びを楽しんでいます。

先日、少しチャレンジができるようにミニハードルと、隙間を作った一本橋を用意しました。どちらもバランスが必要です。『できるかな』『ちょっとこわいな』という様子でしたが、保育者に手を添えてもらいながらやってみると、『できた!』『楽しい!』『もう一回!』と今度は自分でやってみようとしていました。まだ少しためらう子どももいますが、友だちが遊ぶ姿をよく見ているのでチャレンジしてみようという気持ちにつながっていると思います。

子ども自身が体の使い方を試行錯誤したり、友だちの動きを意識して一緒にやってみようとしていけるように個々のペースを尊重しながら、楽しく身体を動かして遊び、運動会にもつながっていきたいと思っています。



いちごぐみの好きな絵本、歌、手遊びを紹介します

《絵本》



《歌・手遊び》

- * きらきら星
- * はたらくくるま
- * すいかの名産地
- * りんご ころころ